

東海地域における農林水産物・食品の 輸出促進について (東海農政局の取組み③)



令和6年2月

東海農政局 経営・事業支援部 輸出促進課



6.積極的な情報発信による輸出の機運の醸成・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.17～

6.積極的な情報発信による輸出の機運の醸成

2020年11月に輸出促進のためのHPを開設しました。
輸出に取り組む事業者の皆さまに、輸出のノウハウや支援策などの情報を動画等により発信しています。



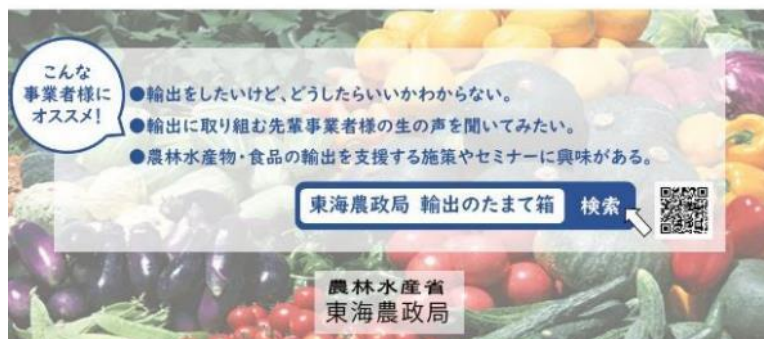
【QRコード】



こんにちは。農林水産省 東海農政局です。

「輸出のたまたげ箱」

はじめました。



こんな事業者様にオススメ!

- 輸出をしたいけど、どうしたらいいかわからない。
- 輸出に取り組む先輩事業者様の生の声を聞いてみたい。
- 農林水産物・食品の輸出を支援する施策やセミナーに興味がある。

東海農政局 輸出のたまたげ箱 検索

農林水産省
東海農政局

輸出に取り組む事業者の生の声

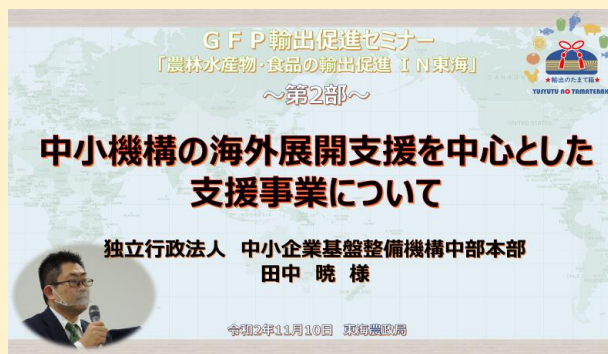


伝統的健康食 大麦を世界へ
～輸出への道のり～
豊橋糧食工業株式会社
令和4年5月

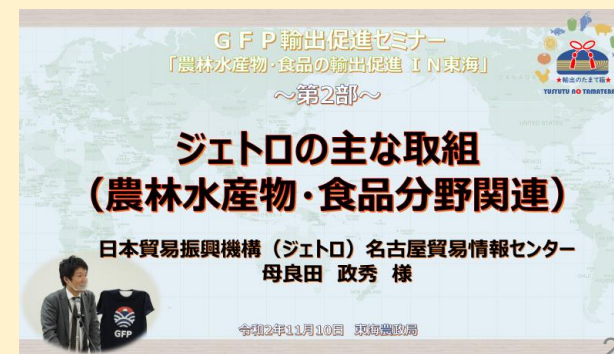


佃煮を世界の食卓へ
～株式会社平松食品～

行政機関や支援機関からの情報提供



GFP輸出促進セミナー
「農林水産物・食品の輸出促進 IN東海」
～第2部～
中小機構の海外展開支援を中心とした
支援事業について
独立行政法人 中小企業基盤整備機構中部本部
田中 暁 様
令和2年11月10日 東海農政局



GFP輸出促進セミナー
「農林水産物・食品の輸出促進 IN東海」
～第2部～
ジェトロの主な取組
(農林水産物・食品分野関連)
日本貿易振興機構 (ジェトロ) 名古屋貿易情報センター
母良田 政秀 様
令和2年11月10日 東海農政局

東海農政局管内の輸出に取り組む産地や空港・港湾、関連事業者の紹介動画

規制対応と新たな挑戦で、日本の抹茶から世界の「Matcha」へ～株式会社愛てん～

海外への輸出では、食品安全規制など日本での販売よりも高いレベルが現地取引事業者から要求されます。その中で地元商社と連携しながら、残留農薬規制対応や生産施設の高度化を行い、コロナ禍においても前年比2倍という大きな輸出額増加を実現した事例を紹介しています。

(URL:<https://www.youtube.com/watch?v=IShLYg1sEJw>)

(short ver.: <https://www.youtube.com/watch?v=hVaXdE7L9P0>)



マーケットインの発想で収益拡大～森白製菓株式会社～

海外市場で求められるスペック、価格、品質等を専門的・継続的に生産・提供するマーケットイン型の輸出が求められています。

その中で会社の強みを活かしながら、新たにマーケットインに取り組むことで、収益拡大を実現した事例を紹介しています。

(URL:<https://www.youtube.com/watch?v=r81Elgqo0lQ>)

(short ver. : <https://www.youtube.com/watch?v=-LKGbfOHVU>)



農林水産物・食品を航空輸送で輸出するポイント～中部国際空港・セントレア～

東海地域の農林水産物・食品の輸出拠点である中部国際空港・セントレア。

セントレアを利用した農林水産物・食品の輸出の流れを紹介し、航空輸送利用のポイントについて説明しています。

(URL:<https://www.youtube.com/watch?v=He4l324ICv8>)

(short ver. : <https://www.youtube.com/watch?v=x1hWHY4toHI>)



物流プロバイダーのサービス内容とコンサルティング事例

輸送については、港湾や空港の間だけでなく、産地から販売拠点までのすべての工程で、品質の確保が求められます。

それらの要求に対応するための物流プロバイダーのサービス内容やコンサルティングの事例を紹介しています。

(URL:<https://www.youtube.com/watch?v=c6LrW1Fwd-I>)

(shore ver. : https://www.youtube.com/watch?v=vSNjzDjjd_w)



【輸出のたまて箱】新作動画(三栄鶏卵株式会社)を公開しました

New!! 令和6年2月10日 更新!

ちいさなたまごで大きな世界に挑戦! ～三栄鶏卵株式会社～

2012年、シンガポール政府より採卵鶏農場の認定を受け、高級スーパーやレストラン向けに販売を開始しました。定番化に至るまでには、生食でのサンプル試食や玉子焼きの実演販売、日本を代表する「すき焼き」を用いて卵の食べ方を提案する等、プロモーションを続けることにより商品価値を高める努力をしてきました。

今回は、三栄鶏卵株式会社の輸出に関する取組内容や補助事業活用の工夫のほか、生産から輸出までの様子を動画にしました。



輸出のたまて箱 三栄鶏卵



動画の閲覧はこちらから

URL:<https://www.youtube.com/watch?v=h-IK0h-a0IE&t=2s>

or



事業者向けリーフレット

- ・輸出をはじめめる事業者、輸出拡大を検討する事業者向けにリーフレットを作成しました。
- ・取組のステップにあわせて、マーケティングや商流構築、物流改善等について解説しています。

ステップ1：マーケティング

輸出は国内取引とは異なり、輸出先国ごとに規制や消費者の嗜好が異なります。輸出先国の事情と自社の強みや特徴を把握し、「マーケットイン」の発想で、輸出に取り組むことが重要です。

ステップ2：商流構築

輸出プランを実現するには、適切なパートナー選びが不可欠です。自社にとって直接輸出と間接輸出のどちらかの輸出手法が効果的なのか検討する必要があります。また、取引先と知り合うための方法について紹介しています。

ステップ3：物流構築

輸出では、国内取引に比べ輸出コストがかかり、輸出先国での販売価格に大きな影響を与えます。このため、輸送時の品質確保とコスト低減の両立を図り、価格競争力を高めることが大切です。

チェックリスト

マーケットイン、商流構築、物流構築のそれぞれの項目でチェックリストを掲載しています。

輸出に取り組んだ先輩の声

それぞれのステップごとに、輸出に取り組んだ先輩たちの声を掲載しています。



記者懇談会の開催

記者懇談会等の様子（10月14日、18日）

- ・令和4年10月14日に記者懇談会を開催し、小林局長から、農林水産物・食品の輸出目標額（2025年までに2兆円、2030年までに5兆円）に向けた東海農政局や地域の輸出事業者の取組等を紹介し、その後質疑応答を行いました。
- ・また、先進的に輸出に取り組む事業者「森白製菓株式会社（岐阜県羽島市）」の現地調査を実施するとともに、同社の販路拡大の取組や将来に向けた課題等について質疑応答を行いました。

令和4年10月14日 記者懇談会・質疑応答



令和4年10月18日 記者懇談会・質疑応答



令和4年度「輸出に取り組む優良事業者表彰」東海農政局長賞

令和4年度「輸出に取り組む優良事業者表彰」東海農政局長賞の授与式を開催しました

農林水産省は、農林漁業者や食品事業者などの輸出意欲を喚起するため、輸出に取り組む優れた事業者に対して表彰を行い、その取り組みを広く紹介する「輸出に取り組む優良事業者表彰」を実施しています。

このたび、東海農政局において「東海農政局長賞」受賞者を決定し、表彰状の授与式を開催しました。

受賞者

三栄鶏卵株式会社（愛知県 岡崎市）

三栄鶏卵株式会社の取組

- ・2012年にシンガポール政府より採卵鶏農場の認定を受け、高級スーパーやレストラン向けに渥美半島で限定生産の鶏卵を販売開始。
- ・2012年にシンガポールや台湾において玉子焼きの実演販売など、定期的にプロモーションを実施。
- ・日本のたまごの魅力とともに、「すき焼き」などの食べ方のプロモーションを行い、高級スーパーなどでの定番化に成功。
- ・生産から輸出までを自社グループで一貫して行い、コスト・時間・労力を低減。
- ・中部国際空港（セントレア）からの直行便を利用した定期配送により、物流コストを削減。

